

葉身は卵形～広卵形で、長さ 4～15 cm、幅 3～8 cm、先端は鋭頭、基部は急に細まり、辺縁はやや波状を呈し、明らかな平行脈があり、無毛又はほとんど無毛である。葉柄は葉身よりやや長く、基部はややふくらんで薄膜性の葉しょうを付ける。花茎は長さ 10～50 cm で、上部の $\frac{1}{3}$ ～ $\frac{1}{2}$ は穂状花序となり、小形の花を密に付け、しばしば花序の下部は結実してがい果を付ける。根は、通例、切除されているが、付けているものでは細いものが密生する。

本品はわずかににおいがあり、味はない。

確認試験 本品の粉末 2.0 g にメタノール 10 mL を加え、水浴上で 3 分間加温し、冷後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。この液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液 10 μ L を薄層クロマトグラフ用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次に 1-ブタノール/水/酢酸 (100) 混液 (7:2:1) を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに塩化鉄 (III) 試液を噴霧するとき、 R_f 値 0.5 付近に暗青色のスポットを認める。

灰分 15.0 % 以下。

酸不溶性灰分 4.0 % 以下。

エキス含量 希エタノールエキス 14.0 % 以上。

苦味重曹水

Sodium Bicarbonate and Bitter Tincture Mixture

製法

炭酸水素ナトリウム	30 g
苦味チンキ	20 mL
常水又は精製水	適量
全量	1000 mL

以上をとり、用時製する。

性状 本品は類黄色澄明の液で、味は苦い。

貯法 容器 気密容器。

ジュウヤク

Houttuynia Herb

HOUTTUYNIAE HERBA

十薬

本品はドクダミ *Houttuynia cordata* Thunberg (*Saururaceae*) の花期の地上部である。

性状 本品は茎に互生した葉及び花穂からなり、茎は淡褐色を呈し、縦みぞと隆起する節がある。水に浸してしわを延ばすと、葉は広卵状心臟形で、長さ 3～8 cm、幅 3～6 cm、淡緑褐色を呈し、全縁で、先端は鋭くとがる。葉柄は長く、基部に膜質のたく葉が付いている。花穂は 1～3 cm、淡黄褐色で無花被の多数の小形の花を付け、その基部に長卵円形の淡黄色～淡黄褐色の総包 4 枚がある。

本品はわずかににおいがあり、味はない。

確認試験 本品の粉末 2 g に酢酸エチル 20 mL を加え、還流冷却器を付け、水浴上で 15 分間煮沸した後、ろ過する。ろ液を蒸発乾固し、残留物に水 10 mL を加え、水浴上で 2 分間加熱し、冷後、ろ過する。ろ液を分液漏斗にとり、酢酸

エチル 20 mL を加え、よく振り混ぜた後、酢酸エチル液 15 mL を分取し、水浴上で蒸発乾固する。残留物をメタノール 5 mL に溶かし、リボン状のマグネシウム 0.1 g 及び塩酸 1 mL を加えて放置するとき、液は淡赤色～赤色を呈する。

純度試験 異物 本品は根茎、根及びその他の異物 2.0 % 以上を含まない。

灰分 14.0 % 以下。

酸不溶性灰分 3.0 % 以下。

エキス含量 希エタノールエキス 10.0 % 以上。

シュクシャ

Amomum Seed

AMOMI SEMEN

縮砂

本品は *Amomum xanthioides* Wallich (*Zingiberaceae*) の種子の塊である。

性状 本品はほぼ球形又はだ円球形を呈し、長さ 1～1.5 cm、径 0.8～1 cm、外面は灰褐色～暗褐色を呈し、石灰を散布して乾燥したものは白粉を付けている。種子塊は薄い膜で三部に分かれ、各部には仮種皮によって接合する 10～20 粒の種子がある。種子は多角形の粒状で、長さ 0.3～0.5 cm、径約 0.3 cm、外面には暗褐色で多数の細かい突起があり、質は堅い。種子を縫線に沿って縦断し、ルーベ視するとき、切面は細長く、へそは深くくぼみ、合点はややくぼんでいる。外乳は白色で、淡黄色の内乳及び胚を包み、胚は細長い。

本品は砕くとき特異な芳香があり、味は辛い。

灰分 9.0 % 以下。

酸不溶性灰分 3.0 % 以下。

精油含量 本品の粉末 30.0 g をとり、精油定量法により試験を行うとき、その量は 0.6 mL 以上である。

シュクシャ末

Powdered Amomum Seed

AMOMI SEMEN PULVERATUM

縮砂末

本品は「シュクシャ」を粉末としたものである。

性状 本品は灰褐色を呈し、特異な芳香があり、味は辛い。

本品を鏡検するとき、でんぷん粒を充満し、シュウ酸カルシウムの結晶を含む波形を呈する外乳の細胞の破片、黄色長形の種皮の表皮細胞及びこれと直交する薄膜の組織の破片、多角形で膜の厚い褐色の石細胞群の破片を認める。

灰分 9.0 % 以下。

酸不溶性灰分 3.0 % 以下。

精油含量 本品 30.0 g をとり、精油定量法により試験を行うとき、その量は 0.4 mL 以上である。

貯法 容器 気密容器。